

令和 元年 6月17日

二本松市議会議長 様

会 派 名 公 明 党
代 表 者 名 小 林 均



研 修 報 告 書

本会派において、下記のとおり研修会に参加したので、報告いたします。

記

1. 研 修 名 自治体総合フェア2019
(地域で創り、育み、守る～そして、活力ある地域社会へ～)
2. 研修日時 令和 元年 5月24日 (金)
13時00分～17時00分
3. 研修場所 東京ビックサイト
4. 講 師 等 別紙のとおり
5. 参 加 者 ① 小 林 均 ②
③ ④
⑤ ⑥
⑦ ⑧
⑨ ⑩



視察研修結果報告書

1 視察の目的

「自治体総合フェア 2019」に参加し、自治体経営の革新・業務効率化・行政サービスの向上を図り、豊かで魅力ある地域社会の実現に寄与することを目的とする、分野別の展示や、第一線の識者や実務家を講師としたカンファレンスを受けることで、新しい提案を学ぶ。

2 視察結果若しくは成果

○講演及びパネルディスカッション 「シビックプライド×関係人口＝新しい地方創生の形」 関東学院大学 牧瀬 稔、愛媛県西条市 副市長他

シビックプライドとは、19世紀のイギリス北部で表現された言葉で、都市に対する誇りや愛着といった意味がある。我が国にも郷土愛という言葉があるが、シビックプライドは、単に思いだけにとどまらず、その地域の課題解決や活性化といった具体的な行動に取り組む姿勢や参画を含んでいるといった特徴がある。このシビックプライドが高まることで、「定住志向」が向上するとされており、近年多くの自治体で注目されている。一方、地域活性化に欠かせない人材をどう確保するか。この点で注目したいのが、「関係人口」という考え方である。総務省は、過去に居住経験や滞在経験がある人、または観光などを契機に関心を持った人などを「関係人口」と定義し、地域おこしの新たな担い手となるような取り組みを始めた。

今後、本市もシビックプライドの醸成を図り、「関係人口」の増加を政策として、推進すべきと思った。

※ 添付資料（~~視察資料~~、~~写真~~、説明者の名刺（写）、行程表 等）

報告者氏名 小林 均

カンファレンス・セミナー申込【24日】

22日の開催一覧	23日の開催一覧	24日の開催一覧
自治体カンファレンス	出展者プレゼンテーションセミナー	受講申込の方法

自治体カンファレンス

A会場 (100名) : 西3ホール展示会場内 受講無料/事前登録制
 B会場 (80名) : 西3ホール展示会場内 受講無料/事前登録制



<p>12:30 15:00</p>	<p>13:00~15:00</p> <p>A-9 シビックプライド×関係人口 = 新しい地方創生の形</p> <p>I部 講演</p> <p>愛媛県 西条市副市長 出口 岳人氏</p> <p>株式会社読売広告社 都市生活研究所 所長 水本 宏毅氏</p> <p>関東学院大学法学部地域創生学科准教授 社会情報大学院大学特任教授 牧瀬 稔氏</p> <p>II部 パネルディスカッション</p> <p>愛媛県 西条市長 玉井 敏久氏</p> <p>株式会社読売広告社 都市生活研究所</p> <p>エグゼクティブ・コンサルティング・オフィサー 櫻本 元氏</p> <p>関東学院大学法学部地域創生学科准教授 社会情報大学院大学特任教授 牧瀬 稔氏</p> <p>【特別協力】 関東学院大学法学部地域創生学科 関東学院大学地域創生実践研究所</p>	<p>12:30~13:30</p> <p>B-9 LGBTと自治体 ~地域でのダイバーシティを考える~</p> <p>株式会社ニューキャンパス 代表取締役 杉山 文野氏</p> <p>Profile 1981年東京都新宿区生まれ。フェンシング元女子日本代表。早稲田大学大学院にてセクシュアリティを中心に研究し、『ダブルハピネス』を講談社より出版。卒業後、2年間で世界約50カ国十種をバックパッカーとして巡る。帰国後は一般企業に3年勤め、現在は自ら飲食店を経営するかわら、特定非営利活動法人東京レインボープライド共同代表理事、各地での講演会など活動は多岐にわたる。日本初となる渋谷区・同性パートナーシップ条例制定に関わり、現在は渋谷区男女平等・多様性社会推進会議委員を務める。</p>
		<p>13:50~14:50</p> <p>B-10 大規模災害時の出勤・帰宅困難問題</p> <p>東京大学大学院 工学系研究科准教授 廣井 悠氏</p> <p>Profile 東京大学大学院・特任助教、名古屋大学防災連携研究センター准教授を経て2016年4月より現職。 博士(工学)、専門社会調査士。専門は都市防災、都市計画。平成28年度東京大学卓越研究員。 JSTさきがけ研究員(兼任)。東京都「今後の帰宅困難者対策に関する検討会議」座長、など。 主な受賞に、平成24年度文部科学大臣表彰若手科学者賞(2012年)など。</p>
<p>15:10 16:30</p>	<p>15:30~16:30</p> <p>A-10 自治体とスポーツ</p> <p>箱根駅伝で三度の総合優勝、4年連続5区区间賞を獲得した経験を持つ柏原氏が「地域の理解なくして、スポーツは成り立たない」の理念のもと、元アスリートとして地元いわき市との関わり方、地域への熱い思いなどを、いわき市 先崎氏とともに本カンファレンスで語ります。</p> <p>富士通株式会社 柏原 竜二氏</p> <p>いわきサンシャインマラソン 実行委員会事務局 (いわき市スポーツ振興課) 先崎 秀紀氏</p>	<p>15:10~16:10</p> <p>B-11 防災気象情報の伝え方の改善の方向性と推進すべき取組</p> <p>気象庁 総務部 企画課 防災企画室 地域防災対策支援調整官</p>

<p>13:00 13:40</p>	<p>Q-15 「自治体と保育施設の架け橋『おが〜るウェブレボ』 ICT化による給付費算定の業務効率改善事例」 岩手インフォメーション・テクノロジー(株) 岩手インフォメーション・テクノロジー株式会社 佐々木 伸氏 子ども・子育て支援新制度により給付費算定が複雑化、公定価格 改定による再計算、施設毎の加算計算など自治体と保育施設双方 の負担が増大。これらをICT化、給付費算定並びに申請業務削減の 成功事例をご紹介します。</p>	<p>D-15 「自治体向けIDカードのための共通利用フォーマッ トのご紹介」 一般社団法人FCF推進フォーラム 理事 福田 昭和氏 市長村などの自治体が「職員」や「市民」等にさまざまなサービ ス利用のために発行されているIDカード(身分証や利用証等)の ための共通フォーマットについてご紹介を致します。</p>
<p>14:00 14:40</p>	<p>Q-16 「自治体向け住民手続きのワンストップ化に向けた業 務支援システムのご提案」 自治体限定 大日本印刷(株) 大日本印刷株式会社 ABセンターコミュニケーション開発 本部地域創生ビジネス企画開発ユニット 小熊 晃氏 小林 宣博氏 自治体の住民向け手続きのワンストップ化と効率化を実現する『D NPナビ付申請書配信サービス』をご紹介します。マイナンバーカードな どの記載情報活用やRPAへ情報をつなぐソリューションも紹介し ます。</p>	<p>D-16 「新庁舎の建設を契機とした働き方改革への挑戦〜支 所から変えにやいけんけえのう〜」 自治体限定 (株)オカムラ 廿日市市 大野支所地域づくりグループ グループリーダー 戸嶋 伸二氏 平成30年10月、大野支所新築を機に、大胆な窓口改革と業務 の相互連携を目指した「働き方改革」へのチャレンジがスター ト!効果を検証しながら、継続的に取り組む仕組みづくりと定 着、全庁への波及を進めます。</p>
<p>15:00 15:40</p>	<p>Q-17 「未来の自治体と住民サービスのカタチを考える」 自治体限定 行政システム(株) 人口減少や市町村合併等に伴う行政機能の縮小が課題とされてい るなか、継続して住民サービスを提供するには? AI等の技術を交 えながら新しい自治体のカタチを考察します。</p>	<p>D-17 「着眼率9.8%で驚きの効果!SMS×LGWANで安 全・確実に住民連絡!〜導入済み自治体の事例と効果 を公開〜」 NTTコム オンライン・マーケティング・ソリューション(株) NTTコム オンライン・マーケティング・ソリューション株式会社 モバイルサービス部 山口 光一氏 行政ネットワークLGWANに対応したSMS送信サービス「空電 プッシュfor LGWAN」を導入済み自治体の事例と効果をご紹介 致します。住民との安全・確実な連絡手段にお悩みのご担当者 様、必見です!</p>
<p>16:00 16:40</p>	<p>Q-18 「行政改革を図るうえでの省力化・省資源化の視点」 エフソン販売(株) 総務省地域情報アドバイザー 電子自治体エバンジェリスト 高橋 邦夫氏 昨今の行政改革は働き方改革と運動しています。省力化・省資源 化の視点は行政スリム化に運動するとともに、環境問題やWLB 実現の大きな鍵となります。 今日から出来ることは何か、元自治体管理職がヒントを伝えます。</p>	<p>D-18 「地方自治体受講者多数!「実践的サイバー防御演習 CYDER」を毎年受けるメリットとは?」 国立研究開発法人 情報通信研究機構 NICTナショナルサイバートレーニングセンター センター長 園田 道夫氏 NICTナショナルサイバートレーニングセンター 主任研究技術員 花田 智洋氏 「物理と結びつきを深めるICTを背景に、サイバー攻撃のリスクは 年々増大しています。組織のその後を大きく左右する適切な初動 対応について毎年シナリオを変えながら反復的に行うCYDER演習 をご紹介します。」</p>

受講申込の方法

- セミナープログラムへご参加希望の方は、来場者事前WEB登録をしていただき、
当日、各セミナープログラムの開始10分前に各セミナー会場受付まで直接お越しください。
- 会場に空席がある場合はご案内いたします。
※その際、名刺が1枚必要になります。
当日はご受講希望分の名刺をお持ちください。

【お問合せ先】